

## Press Release

## 栃木県企業局への SaaS 型水力運転監視制御システムの提供について

2024 年 10 月 30 日

東京電力リニューアブルパワー株式会社  
東芝エネルギーシステムズ株式会社

東京電力リニューアブルパワー株式会社（以下、「東電 RP」）と東芝エネルギーシステムズ株式会社（以下、「東芝 ESS」）の共同事業体は、栃木県企業局が公募した「今市発電管理事務所集中監視制御システム導入事業」の事業主体に選定され、本日、栃木県企業局と契約締結しました。

本事業は、栃木県企業局が保有する水力発電所 11 ヶ所の運転監視制御システムを SaaS 型<sup>※1</sup>で提供するものです。東電 RP がサーバーを含めたシステム全体の整備を行い、東芝 ESS が発電所及びダム等への遠方監視制御装置等<sup>※2</sup>の設置を担います。

東電 RP が発電事業者として長年培ってきたノウハウを織り込んだシステム設計をもとに、東電 RP 内で既に運用しているシステムとの共用化等による初期構築費用の低減を図ったことで、ユーザーがシステムを保有する従来型の運用と比べて、安価なサービス提供を可能としました。また、システムのセキュリティ監視や常時バックアップ等のリスク対策は、東電 RP が保有する水力発電所と同様の設計であるため、高いシステム信頼度も有しています。

東電 RP は、安価かつ信頼度の高い運転監視制御システムの提供に加えて、現在、社内にて推進している DX・カイゼンの知見・ノウハウも活用し、公営電気事業者等の水力業務の効率化・高度化に貢献してまいります。

東芝 ESS は、豊富なソフトウェア資産と開発技術を駆使し、東電 RP が提供する運転監視制御システムと一体となった信頼性の高い遠方監視制御装置等の開発を進め、安定かつ高度な電力流通に貢献してまいります。

※1 事業者が提供するソフトウェアを広域ネットワーク経由でお客さまに利用いただくサービス形態。

※2 東芝 ESS の遠方監視制御装置は、様々な通信プロトコルに対応しており、東電 RP の提供する運転監視制御システムとの親和性の高さに強みを有しています。

以上